

- ・課題：木造率が約78%と高い大分で、築10年以上の防蟻未実施率84%、築30年以上の被害率5割超は深刻。震災全壊家屋の8割に白蟻被害が確認されており、倒壊リスク防止は急務
- ・解決策：大気中デブリのPCR判定と外観AI画像判定による科学的点検で消費者の行動変容を促進。介入が必要な高リスク物件のみに専門家をピンポイント投入する仕組みへ転換する

【構想図】

課題

- ・築10年以上で84%が白蟻対策未実施
- ・築30年で約半数が白蟻被害に直面。
- ・震災全壊家屋の80%に腐朽・蟻害

『白蟻が奪う耐震性』：目に見えないが蟻被害は、建物数兆円規模の地域経済損失（震災時の倒壊）に直結する。

解決策



浮遊物から
生息を検知。



画像データから科学的
・客観的リスクを検出。



深刻な人手不足の
中で熟練専門技術
者を高リスク物件へ
ピンポイント投入。

住宅メンテナンスプラットフォーム - 次世代技術

おおいたDX推進ラボ

市場ニーズと今後の事業展開

【市場ニーズ】

不信感を
『納得感』へ転換

PCR検査・AI解析による
科学的根拠の提示で、
消費者の信頼を回復



点検・施工の効率化

熟練技術者を高リスク
物件に集中させ、人手
不足の問題を解決

【今後の事業展開】



住宅版PHRの構築

住宅の維持管理履歴を
生涯記録する
データベースの作成



適正な資産格付け

中古住宅市場における
公平な資産評価と
格付けを実現